

# 2000年度 臨時情報化委員会議事録

## 1. 実施日時・場所

2000年12月5日(火) 13時～17時  
南山大学名古屋図書館

## 2. 出席者

議長 南山大学(笹山 達成)  
記録 愛知工業大学(津田 朋美)

愛知医科大学(田中 昭夫)、愛知大学(三浦 文博)、岐阜経済大学(高比良 幸司)、  
金城学院大学(鈴木 卓美)、椋山女学園大学(河路 峰雄)、中京大学(春日井 正人)、  
豊橋創造大学(川上 雅子)、日本福祉大学(石川 宗臣)

## 3. 議題

- 3.1 常任幹事会の報告
- 3.2 システム・ネットワーク化情報交換会の反省
- 3.3 見学会について
- 3.4 2001年度情報化委員会委員について
- 3.5 2001年度情報化委員会活動方針・内容について
- 3.6 東海地区協議会ホームページの維持・管理について

## 4. 議事内容

システム・ネットワーク化情報交換会(第4回委員会)議事録の議事録の内容について確認が行われ、若干の修正の後、承認された。

### 4.1 常任幹事会の報告

笹山委員長より、12月1日に椋山女学園大学で開催された常任幹事会の報告がなされた。  
岐阜聖徳学園大学から、来年度の東海地区協議会研究会のテーマを図書館の一般開放とし、事前にアンケートを実施したいという要望あったことや、HP委員会から、協会HPの中身や更新の周期を検討していること等が報告された。

### 4.2 システム・ネットワーク化情報交換会の反省

各委員から下記のような感想・意見等が出た。

「9時半受付・10時開始・17時終了」という時間帯については、「時間が長く、疲れ気味の人もいたようなので、30分削って4時半終了の方が良かったのではないか」「時間を短くするなら(会場の場所の問題もあるが)、遠方からの参加者のために後ろに時間をずらし、例えば30分ずらすなら10時半始まりにした方が良い」という意見が出た。

「情報交換」に関しては、「情報交換の時間をもっと増やした方がよい」「事前に質問が出ていて良かった」「事前に情報交換のテーマを設定しておく(もちろん、そのテーマでしか話してはいけない訳ではないが)話がしやすく、意見ももっと出たのではないか」「テーマを設定しておく、インターネットを使って事前に情報を流す等の、事前の準備を模索する必要があるかもしれない。それは、現実としては時間的に難しい面もあるが、テーマにあった参加者に参加してもらえれば情報交換ももっと活発になるかもしれない」という感想・意見が出た。

「プレゼンテーションセミナー」に関しては、「1～2本にして時間を短くしても良いのでは?」という意見も出たが、「量としては良かった」「一つ一つのプレゼンテーションはもっと短くしてもよいが、情報は沢山提供したい」「今回は一つのプレゼンテーションの時間が長かった(一社40分)。医学系の場合、一社5～10分でプレゼンテーションをしている」との発言も出た。また、情報交換会の前後に、プレゼンテーションについてインターネットによる情報提供が出来るという意見も出た。さらには、プレゼンテーションにはせずに、例えば1時間時間を取り、最初に各業者が簡単な説明した後で、参加者が各自関心のある展示を見る形式にしても良いのでは?との話も出た。

時期的な問題としては、「10月だと予算申請に役立つので助かる」という意見も出たが、任期の最初の年は6月からしか委員会活動ができないので、10月は難しいということになり、任期1年目は12月、2年目は10月の開催予定とすることになった。

その他、「会場校が準備等いろいろと手伝って下さって、助かった」「内容の中身は濃くて良かったが、午後に質疑応答の時間が取れたら良かった」「参加者をもう少し増やす努力も必要かもしれない」という感想・意見が出た。

委員会の出来る範囲でアフターフォローをするということから、情報交換会の記録を加盟館宛に送り、内容を公開することとなった。情報交換会の記録は、議事録の要約と関係するURL、プレゼンテーションセミナーでの質疑応答を載せることになった。東海地区協議会HPにも掲載し、内容に関して加盟館からクレームが来た場合は修正して、館灯に掲載する。

#### 4.3 見学会の反省

各委員から下記のような感想・意見等が出た。

- ・2年に1回という周期や時期、日帰りか1泊か、今後も続けるのか止めるのか、ということも考える必要がある。
- ・見学する時間が少なかった(重点を絞る必要があった)。
- ・順番が図書館情報大学、筑波大学の方が良かった(しかし、それは行ってみなければ分からないことである)。
- ・農林水産研究情報センターはおもしろかった。
- ・見学先で個別に担当者と話ができると良かったが、それは受入側の負担になることでもあり、対応による。
- ・見学先でフリーな時間があれば良かった。
- ・図書館総合展にも行くことが出来て良かった。
- ・どの見学先も準備段階から親身に應對してもらい感謝している。

見学会の記録も交換会の記録と同様、加盟館に送付することに決まった。

#### 4.4 2001年度情報化委員会委員について

大学として委員を受けられない、あるいは委員の交代がある大学

- ・愛知医科大学...受けられないかもしれない
- ・名古屋商科大学...受けられない
- ・金城学院大学...委員交代

委員の依頼があれば受けられる大学

- ・愛知淑徳大学 杉山さん
- ・中部大学 古田さん
- ・皇學館大學 山際さん

委員の数は規程で決まっていない。情報化委員会としての案は、2月の委員会で決める。

#### 4.5 2001年度情報化委員会活動方針・内容について

研究会については、現状では東海地区協議会HPワーキンググループもあり、活動するのは難しい。具体的に研究したいテーマが出てきたときに対応し、あらかじめテーマを固定して研究する研究会はやめることに決まった(規程は変えない)。

#### 4.6 東海地区協議会ホームページの維持・管理について

東海地区協議会HPワーキンググループは12月15日に金城学院大学で開催される。

前回の合同委員会で相互協力委員から「情報化委員会では東海地区協議会HPについてどう考えているのか」という質問があったこともあり、東海地区協議会HPについて話し合った。

鈴木委員からは「現在、東海地区協議会HPは西地区ホームページとリンクしていないが、今後、東海地区のトップページを載せてリンクしてもらおうような方向で考えている。来年度は内容を詰めて、充実させる。」との発

言があった。内容については、「加盟館のすべての図書館員が対等に情報が得ることができるように、年間行事予定や、東海地区に関わる常任幹事会の情報を抜き出して提供する」「図書館利用者にも有益な HP となるよう OPAC の横断検索ができるようにしたり、ILL の条件や一般公開している図書館のリスト等を載せてはどうか」という意見が出た。

鈴木委員からは「HP の情報を更新したいが、人手が足りない。他から FTP でデータを送ってもらうのは怖い」という発言があり、笹山委員長からは「過去にサーバの問題に決着がつかなかったのはなぜか？一大学のサーバに間借りするのではなくレンタルサーバを調査し、予算要求すればよい」との発言があった。

HP に載せる情報をどのように収集・管理・維持するのか、現在はその団体やデータのオーソライズ方法 - 例えば、理事校がオーソライズするが、その度では大変なので、あらかじめ承認をもらっておき、もしクレームが出ればその場ですぐ対応する - がはっきり決まっていない。HP のための新しい委員会を作っては？という意見もあるが、情報化委員会が維持管理の主体となり、人数や交付金も増加してもらえばよいのではないか、という話になった。

他に、アクセスカウンター(分析できるもの)を作って HP に付けて欲しいとの要望が出た。

以上